

研究機関：独立行政法人海洋研究開発機構 深海・地殻内生命圏システム研究プロジェクト もしくは プレカンブリアンエコシステムラボ

受入研究者：高井研

研究分野：宇宙生物学、微生物学、地球生物学、地球化学、人体実験

研究概要

「地球が生命に満ちあふれた希少な惑星」に成り得た真の原理を明らかにすることを目標としている。その答えは、「太陽系を含めた宇宙における生命の可能性や存在条件」を知る最も重要な手がかりとなると信じている。そのための研究手段は問わない。科学に分野の国境はなく、そこには鉄条網も税関もない。あるのは無限に広がる前人未踏の科学領域のみである。とはいえ、地球—生命の相互作用システムを解明することに鍵は隠されていると思う。現在の地球—生命相互作用システムを焦点にした場合、深海・地殻内生命圏システム研究プロジェクトという分類になるし、約 6-40 億年前の地球—生命相互作用システムに着目すると、プレカンブリアンエコシステムラボに様変わりするカメレオン研究グループである。

分析手法

1. 微生物培養を極める(培養の博物館)
2. ゲノミックな解析と生物情報学的方法論から探る(分子生物学機器何でも)
3. タンパク質をなめるな(ACTA とか LC-MS、分光、蛍光スペクトル)
4. 未開のフィールドを探索・踏破する植村直己気質(採水器、あかつき)
5. 地球化学と微生物生理学を融合するとおもしろい(培養あつてのこと)
6. 地質学・岩石学も学べば簡単だよ(JAMSTEC にはなんでもある)
7. 軽元素同位体比測定はすべてやればいじゃん(DeltaXP & MAT253)
8. 日本人として、侍としての誇りをもって、世界を股に掛けよ

コラボレーションの提案例

1. アチチな情熱を持っていること
2. 情熱を現実に変えるアイデアの泉を持っていること
3. アホでもいいけどできればアホじゃないほうがこしたことはない
4. っていうか、自分で自分のこと本当にアホと思ってるなら研究者になるな
5. やる気だけはありますというセリフを本当に実行できる
6. 言うべき事を言うべき時にしっかり言える

という人であれば、一応誰とでもコラボレーションする努力はしています。でも、基本的に、頭悪いくせに頭固い人や権威が好きな人、権威に媚びる人が嫌いですので、そう言う

人はコラボできませんでした。あっさりした人にはちょっとウザイ人間なので、体力のある方、こってりしたものがお好きな方なら、全方位コラボ可能ですが、もちろん興味ない分野もありますので、お確かめ下さい。

受入側の研究に関する文献、書籍

<http://www.jamstec.go.jp/biogeos/j/xbr/sugar/Member/KenTakai.html> を参照頂くか、Web of Science で、Author = Takai, K、Address = Kyoto or Yokosuka で検索してみてください。いっぱいあるよ。

住所：237-0061 横須賀市夏島町 2-15)

連絡先：046-867-9715

研究者メールアドレス：kent@jamstec.go.jp

研究室 HP アドレス：<http://www.jamstec.go.jp/biogeos/j/xbr/sugar/index.html> & <http://www.jamstec.go.jp/less/precam/j/>